

コード	名称	区分	コード	名称
事業名	801-1 青少年健全育成事業	会計	01	一般会計
		款	10	教育費
		項	05	社会教育費
基本施策	37 子どもたちの健やかな成長を促す	目	04	青少年育成費
		細目	441	青少年健全育成事業
行革大綱の重点事項番号		細々目	51	青少年健全育成事業
担当部課	コード	450400		担当者氏名
	名称	教育委員会 生涯学習課		
		連絡先	22 - 9679 (内線) 3833	

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)	市内の児童生徒や青少年の健全育成を願う大人	※対象件数
成果(どうする)	地域の大人が子どもたちに興味を持つことによって子どもたちとのふれあいが増え、青少年の健全育成、非行防止につながり、少年非行が少なくなる。	
根拠法令・要綱等	子どもの読書活動の推進に関する法律 子どもの健全育成条例	
開始年度	平成 年度	関連事業
終了年度	平成 年度	
H21 事業内容	子ども読書活動推進計画の実施 青少年健全育成推進大会の開催 輝け！いがっ子憲章啓発事業 「輝け！いがっ子憲章フォトコンテスト」の募集 輝け！いがっ子憲章のチラシの配布	
社会情勢の変化等	平成20年度から5年間の計画で「子どもの読書活動推進計画」がスタートした。 子ども健全育成施策検討委員会では当該年度の計画と実績を検証しながら計画を推進している。 また、輝け！いがっ子憲章啓発事業「第2回輝け！いがっ子フォトコンテスト」を行い憲章の普及に努めている。	

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)		運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)	
1 建設用地		1 運営主体	
2 建設面積(延床面積)		委託先	
3 規模・構造		2 配置人員	人
4 総事業費	千円	3 年間運営費	千円
		4 市内の類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
青少年健全育成推進大会の開催	目標	回	1	1	1	1
	実績	回	1	1	1	1
輝け！いがっ子憲章フォトコンテストの募集	目標	回	1	1	1	1
	実績	回	1	1	1	1

成果指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
青少年健全育成推進大会参加者数		青少年健全育成推進大会を開催し多くの人に家庭や地域の教育の大切さを伝える。	人	目標	400	目標	200
				実績	170	実績	300
輝け！いがっ子憲章フォトコンテストの応募点数		日常生活を写す写真を通して子育てや子どもの健全育成のてびきとする憲章の周知を行う。	枚	目標	20	目標	50
				実績	44	実績	57

投入コスト	H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計 (A)	1,390	705	1,345	1,345
Aの財源内訳				
国庫支出金				
県支出金				
地方債				
その他	0	0	0	0
一般財源	1,390	705	1,345	1,345
事業投入人件費 (B)	1.2人	8,568	1.2人	8,640
フルコスト(A)+(B)	9,958	9,345	9,985	9,985

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)		備考欄(特記事項)
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業	○
	個人(セーフティネット)だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業	○
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業	○
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業	○
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業	○
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業	○
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業	○
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業	○
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】		
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】		
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。	○
達成度	当初設定した計画を 100% 実施している。 【計画に遅れが生じている場合、改善策】 予算の繰越の有無 無 【予算の繰越がある場合、繰越の種別】	
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。	
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。 【事業名】 受益者負担を求めることができる事業である。 全体コストにおける負担構成は適正である。 コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。	

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	公演の内容によって参加者の増減が著しい。子どもたちの感性を磨くものは何か、アンケート調査やニーズ調査を行い情報の収集に努めていく。
昨年度の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 ・青少年健全育成推進大会(ピパ・サタデー)を、2月6日(土)に上野フレックスホテルにおいて「むすび座 人形劇場」を開催し300人の参加があった。 ・「第2回輝け！いがっ子フォトコンテスト」を実施し、57点の応募があった。その作品を銀座ギャラリー等で展示した。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	榎田ちえみ
【方向性】	現状維持
【理由】	家庭、学校、地域社会等が連携協力して青少年の健全育成に取り組むことができるよう、行政及び民間団体の参加・協力を得て諸事業、諸活動を実施する。
現時点における課題、その他	青少年健全育成推進大会へ参加しやすいような事業内容について検討が必要である。
課題、その他に対する改善策(いつまでに、何を、どうする)	平成22年度から、開催日時・場所・内容等について検討する。